



横田 龍寿（よこた たつじゅ）議員
(政和会)

問 防災緑地公園から海側の土地の今後の計画は。町長 段階的に整備を進める。5年度に「公園」「住民向け農地」の

詳細設計を実施し、6年度には整備工事に着手する。

- ◆ 町内の部分林組合の現状は
- ◆ 三陸鉄道へ法人向け企画列車の提案を
- ◆ 國土調査の進捗は
- ◆ 温水の町民プールを
- ◆ 第50回東北総合体育大会相撲競技で誘客を

答 5年度設計、6年度工事着手する

その他の質問

問 森林環境譲与税を人材に使っては

答 今後、他自治体の事例を参考にする

問 全国の約3割の自治体が森林整備を促進するための人材育成、担い手の確保に森林環境譲与税を使っているが、山田町ではそのようないか。

答 佐藤町長 5年度事業としてチエーンソー伐木等特別教育講習会の開催を予定している。

問 農業農村の多面的機能の重要性が高まっているが、森林にも当てはまらないか。

佐々木農林課長 森林の多面的な機能の保全活動はとても重要である。町でも取り組みを進めたい。

問 このまま手を打たなければ、かつて13業者あつた製材業者がゼロになるのではないか。

問 農林課長 林業者へどうか。農林課長 林業者へどうか。農林課長 林業者へどうか。

問 他自治体では、製材所の職員の待遇改善、人材の定着を図るために給料の上乗せ分を助成するための財源として、森林環境譲与税を使う案が出ている。本町ではそのような考えはないか。

農林課長 取り組みの有効性を確認した上で、実施を研究していく。



団員確保に向け積極的な支援を

答

消耗品費に組み替え計上している

問 農林課長 炭焼き窯築造に対する補助を行った経緯もあり、引き続き必要な支援を行っていきたい。

問 町長 5年度予算において、消耗品費に組み替えて計上した。消防団員の私のみならず、同僚議員も皆賛同した事業である。5年度以降も継続してほしいがどうか。

問

消防団員活動補助金の継続を